

伝言板

消防本部からの報告

4月の火災件数4件(建物4件、車両0件、その他の火災0件) 救急出動件数371件 搬送人員367人

人口と世帯

平成12年5月1日現在。()内は前月比

	住民基本台帳人口	外国人登録人口
男	82,341人(131人の増)	623人(1人の減)
女	78,892人(50人の増)	791人(2人の減)
合計	161,233人(181人の増)	1,414人(3人の減)
世帯	59,305世帯(222世帯の増)	1,042世帯(5世帯の減)

住民基本台帳法に基づく年齢別人口

14歳以下	22,646人(14.05%)
15歳～64歳	119,588人(74.17%)
65歳以上	18,999人(11.78%)

市の位置と面積

位置は狭山市役所)
東経139度24分54秒8665 北緯35度50分59秒6835
面積49.04平方キロメートル 海拔77.2メートル

情報公開懇話会委員を募集

市では、情報公開制度の充実を図るため、狭山市公文書公開条例の見直しを検討しています。そこで、情報公開制度懇話会の委員として、検討に参加していただけるかたを募集します。
応募資格 6月1日現在、市内に引き続き1年以上居住する、20歳以上70歳未満のかたで、狭山市の審議会などの委員でないかた 定員2名 申し込み6月14日(木・必着)で、郵送か直接、申込書(総務課に用意)と小論文(「情報公開制度について思うこと」1千200文字以内)を総務課へ 問い合わせ総務課へ内線3531

6月の狭山ケーブルテレビ

ニュース9(ニュース・情報!土・日はニュース9×4)

狭山市ダイオキシン条例一部改正について 狭山市規格葬儀制度スタート ペットボトル回収の現状 むし歯予防デー 高校受験事情 入間川クリーン作戦 公開される審議会情報 ほか
ちゃっぴいアワー(トークとリポートそして情報)
父の日特集(1日～7日) ギャラリー象山(8日～14日)「ヒョウよけ寺にヒョウがふる(15日～21日) 狭山茶摘み体験フェア(22日～28日)

お茶飲みばい(きま専科(トーク番組))

1日～7日...田中秀昭さん(ペースメーカーは我戦友) 8日～14日...朝霧幸嘉さん(グリーンティーラガー誕生秘話) 15日～21日...小久保富夫さん(歌と花と自然に生きる) 22日～28日...高橋

申し込み・問い合わせ・ダビング依頼...狭山ケーブルテレビ(株) ☎0120-340-379か企画・制作部へ ☎956-5630
Eメールs cat@jnc.ne.jp http://www.jnc.ne.jp/s_cat/

千津子さん(今年の盆踊りは狭山茶ばやしで) 29日～7月5日... 斎藤邦夫さん(いつの時も仲間と共に)

ちゃっぴい撮影隊参上!!(市内イベントと全国地域番組)

10日～16日...JALいるま野川越・狭山地区本部「98夏休みこども村」 17日～23日...狭山青年会議所創立20周年記念事業「ふれあいフェスタ2000」ほか

S-CAT案内(チャンネルいろいろ。プレゼントを用意)

120%ワンドホーレッスンin SAYAMA(ゴルフレッスン番組:1日～7日と15日～21日) 狭山市ホットインフォメーション(市役所からのお知らせ) ちゃっぴい9あらかると(1日～7日・狭山モータースクールフリーマーケット) ちゃねっとCue(文字による情報番組) はーいお手紙です(22日～28日) 近隣CAT(所沢...木・金曜日 入間...土・日曜日 川越...水曜日 飯能...月・火曜日) 以外の番組は、加入者のみ視聴可能です

デモテープ募集中!!

狭山市内や近隣市で活動しているバンドのオリジナル曲を募集しています。自主制作番組やCMなどで放送予定。ふるってご応募ください!!

お・茶・番・る・ま・ち

SAYAMA CITY
さやま

【狭山市広報/お知らせ版】VOL.347

発行日/平成12年5月25日(毎月10・25日発行)
発行/狭山市
編集/狭山市企画総務部広報課
〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5
TEL042-953-1111(内線7161)
FAX042-954-6262 テレホンガイドさやま ☎0120-460-380
ホームページhttp://www.city.sayama.saitama.jp/

編集後記

先日、取材の機会を得て、探鳥会に同行させていただきました。鳥類に関する知識は、全く興味のないかたに比べたらいくらかあるかな?程度の私にとっては、「あの声は何々、あれは渡り鳥の何々」と望遠鏡の視野に入ってくる鳥を見せていただいても、「さっき見たのとどこが違っていたのかな?」と考えてしまうことがしばしばでした。しかし面白いことに、山や川を遊び場として育った私としては、説明をお聞きしながら林の中を歩いているうち、懐かしい鳥の名前が橋渡しとなって、子どものころの記憶が鮮やかによみがえってきたのでした。サシバのこどもを捕まえてきては得意がっていた級友、とりもちが許されていた時代、取り扱い方がへたで口の中をもちでべたべたにしてしまったことなどなど。今思い返すととてもゆるやかな時の流れであったような気がします。 か